

## 目標達成計画

作成日: 平成24年12月21日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束により利用者に与える身体的精神的苦痛をより良く理解し、自由な暮らしを支援するために目の行き届く時間帯をつくり、各ユニットで入り口の開放に努力する事が望まれる。	過去の経緯も踏まえ、常時開錠することは、現実的では、ありませんが、時間を考慮し、防火扉の開錠時間をつくり、脱拘束を図ります。	昼食時間11:30~12:30 *各フロアーの入居者が落ち着いており、職員がリビングで見守り可能な状況であれば、随時、開錠とします。	1ヶ月
2	33	重度化に伴う指針および意思確認書を作成し、事業所ができる事、できない事を明文化することが望まれる。	重度化に伴う指針および意思確認書を作成し、事業所でできることを十分に説明しながら、方針を共有し、関係者と共にチームで支援します。	介護事業部・関連部署と内容等を協議し、運営指針および意思確認書を作成し、説明・確認書の取り交わしを行います。	12ヶ月
3	35	避難対策は昼夜問わず検討すると同時に、災害時に備えて食料品や飲料水、懐中電灯や紙おむつ、寒さをしのげるような備品等の準備が望まれる。	災害時をシミュレーションし、命を守る対応ができる。また、地域の防災訓練等の参加し、連携を図ります。	災害時に備えた備品・食料品や飲料水等を全スタッフで検討・購入し、地域との連携を図り、災害等に備えます。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。